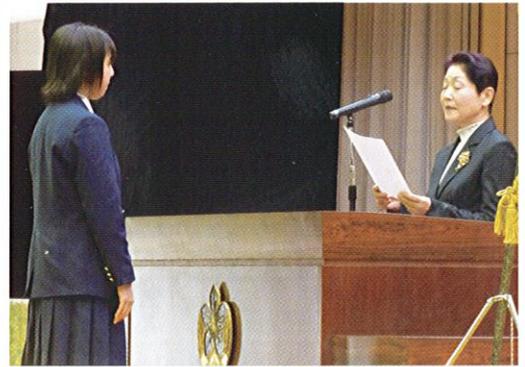
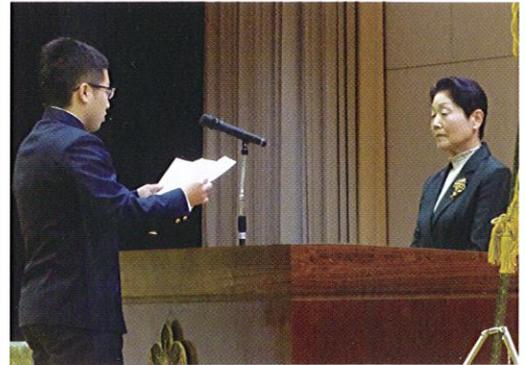




同窓会会報

発行

福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5-10
電話(522)2049
発行人 石井 都
印刷所 (有)三共印刷所



『令和元年度 入会式』



「心を一つにして」

同窓会会長 石井 都
(昭和41年度卒)

会員の皆様には、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年一月二十九日、クラス代表幹事の皆さんとの顔合せを同窓会室において行ないました。一クラス二名ずつで十クラス、二十名が生徒ホールにて集合写真を撮影し、自己紹介等を行ない、短時間ではありましたが有意義な時を過ごす事ができました。

二月、この頃から「新型コロナウイルス」の言葉が聞かれる様になり漠然とした思いをもっていた日々はあつと言う間に現実のものになり、会の大きな事業の一つ「入会式」の開催も、いかなるものかと役員一同話し合いを重ねましたが、学校側の協力を得て、二月二十八日、新同窓生三百二十一名を迎える事ができました。

例年六月開催の総会も、三密回避が難しく、世間の状況を考慮して中止を決め、ホームページ上での報告と致しました。同様に月に一度の定例会も、必要最低限の回数で行ないました。

何の計画もたてられず不安ばかりが先行する日々ですが、生徒達の様々な分野での活躍を新聞紙上等で見つける度に、その文面に心踊り、励まされました。

同窓会は今、このような時だからこそ、多くの事項を改正していく良いチャンスと捉え、役員一同心を一つにしてこの局面を乗り切りたいと思えます。

皆様、今一度、会の発展に御支援、御協力の程よろしくお願い致します。



母校は「成蹊」と言える誇り



ご挨拶

理事長 高橋 幸七

東日本大震災・東電原発事故から十年の時を待つことなく、世界を覆うコロナ禍に身を晒す一年となつてしまい、会員の皆様のご健勝を祈るばかりです。

第一次世界大戦開戦の前年に創立された本学の長い歴史を顧みますと、この間、幾度となく世界を襲つたうねりに堪え、また、時代や各方面のニーズに応えんと、学校形態の変遷を重ねながらも、校訓「桃李不言下自成蹊」は一切変わる

『今日こそ試される成蹊の真価』



校長 本田 哲朗

同窓会の会員の皆様方には、常日頃、物心両面に渡るご支援を賜り、衷心から御礼を申し上げます。

今般のコロナ禍は私達の日常を大きく揺さぶりました。そんな中、学校の諸活動は生徒・保護者の協力も在り、五月までの休校期間の遅れを何とかリカバー出来る所まで来たと思ひます。これも、一

ことなく、卒業生二万八千余名を世に輩出した事実は正に誇りであります。災禍が続く今だからこそ、その歴史に關られた同窓生の皆様始め、先達への感謝の想いが一層募るこの頃です。

品格高き「次なる桃李の人」の育成に向け、創立百七十年目の「今」を託された私ども役員・職員一同は、その責務を果たすことをお約束申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

重に校史の賜物で在り、悪戯に歴史を積み上げて来た訳で無い事が証明されたと言つて過言ではありません。組織の力、ヒトの真の力は非常時にこそ試されます。これを、後漢を興した光武帝が「疾風にして勁草を知る」と表現しました。一千人を越える生徒達の期待に応えるべく、桃李の精神で邁進する所存です。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

1. 収入金額 2,898,089 2. 支出金額 1,785,797 3. 差引金額 1,112,292

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減, 適用. Rows include 会費, 運営協力費, 預金利子, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減, 適用. Rows include 事業費, 会議費, 会報発行費, 協力費, 交誼費, 通信費, 旅費, 事務費, 特別積立費, 子備費, 合計.

特別積立金(令和2年3月31日現在) 3,475,606円
運営協力費(令和2年3月31日現在) 105,400円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます
令和2年4月11日 会計監査 関根 綾子 渡邊八千代

会務報告

平成31年

- 4月10日 入学式出席
11日 会計監査
13日 定例役員会
会報第25号発送

令和元年

- 5月11日 定例役員会
6月8日 募参(初代・4代校長) 定例役員会
23日 同窓会総会開催
7月20日 定例役員会
8月31日 定例役員会
9月8日 桃李祭
10月19日 定例役員会
11月9日 定例役員会
12月7日 定例役員会

令和2年

- 1月18日 定例役員会
29日 新幹事顔合わせ
2月8日 定例役員会
28日 同窓会入会式
3月1日 卒業式出席 会報第26号発行

役員

名誉会長

渋谷スズイ(昭和30年度卒)

顧問

丹野 リン(昭和21年度卒)

益田 幸子(昭和28年度卒)

上枝 治代(昭和22年度卒)

齊藤 ヨシ(昭和23年度卒)

浅野 良子(昭和36年度卒)

須田カヨ子(昭和41年度卒)

小林 征子(昭和35年度卒)

会長

石井 都(昭和41年度卒)

副会長

山科 直枝(昭和53年度卒)

会計監査

関根 綾子(昭和55年度卒)

渡邊八千代(昭和48年度卒)

書記

斎藤 綾子(昭和61年度卒)

矢吹はる香(平成9年度卒)

幹事

本田 文子(昭和47年度卒)

佐藤 文恵(昭和48年度卒)

常任幹事

千葉 良彦(平成21年度卒)

事務局長

瓶子恵理子(平成4年度卒)

渡邊 愛(平成17年度卒)

穴澤あすか(平成18年度卒)

唯木 祐人(平成21年度卒)

和田 理志(平成23年度卒)

末永 誠徳(平成24年度卒)

※役員改選につきましては、総会中止に伴い、来期に延期いたします。

令和二年度進路状況

進路指導部部長 長南 仁吾

令和二年度は、緊急事態宣言発令に伴う休校期間があり...

令和二年度進路状況 令和3年2月16日現在(一部の学校のみ記載)

Table with 2 columns: Category (e.g., 国立大学, 私立大学) and Count/Details.

令和元年度進路状況 (一部の学校のみ記載)

Table with 2 columns: Category (e.g., 国立大学, 私立大学) and Count/Details.

クラブ紹介

特別活動部部長 鈴木 祥之

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターハイや国民体育大会...

陸上競技部

三年八組 中野 胡桃

私たち陸上競技部は、十五年連続全国大会出場を果たし...





校歌

作詞 坂内 萬
作曲 古閑 裕而

わが学び舎の
名もゆかし
桃李の花の
匂へれば
ものいはねども
慕ひくる
かげやこみちど
なりぬべき

金剛石の
みさとしに
阿武隈川の
よどみなく
進みゆく世に
遅れじと
いそしむ技の
楽しさよ

同窓生の活躍

アートアワード
トキヨー丸の内2020
小山登美夫賞受賞

『愛する福島に芸術で還元を』

土田 翔 (平成27年度卒)

現在、私は大学院に進学をし、絵画の枠を飛び越え、立体や映像、音響など幅広い表現活動に精力的に取り組んでいます。また、地域の歴史的な背景を重要視する調査により、画家の絵画論の研究、精神性の下敷きを現地で探るなどの活動を通し、日々研究に励んでいます。制作活動の中では、出身地の福島を思いながら描くことがあります。近い将来、福島での個展を開催し、また、愛する福島の土地へ芸術によって還元することが夢です。応援してくださる皆様に良いお知らせが届けられるよう、表現活動を通じて参ります。



令和3年度 総会のお知らせ

今年度は総会のみ行ないます。

日時／令和3年6月13日(日)
午前10時30分～11時30分
場所／福島テルサ 大会議室
※諸経費として当日1,000円
徴収させていただきます

問い合わせ先
福島成蹊高等学校 同窓会事務局
TEL 024-522-2049

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止もしくは開催内容を変更する場合は、HPIにてお知らせいたします。

事務局だより

会報は昭和54・平成元・24・27年度卒業の皆様を送付いたします。今後とも卒業年度を追って順次送付する予定です。

皆様にご協力いただきました運営協力費は会報送付等に使用させていただいておりません。引き続きご協力お願いいたします。

また、クラス会開催の際は、名簿を事務局に提出して下さい。通信費として二千元を補助いたします。

新幹事

- | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 十一組 | 十組 | 九組 | 八組 | 七組 | 六組 | 五組 | 四組 | 三組 | 二組 | 一組 |
| 遠藤 | 佐藤 | 南北 | 篠田 | 大本 | 伊藤 | 石山 | 石山 | 鈴木 | 守山 | 平野 |
| 小引 | 我数 | 齋藤 | 佐藤 | 阿部 | 野村 | 藤原 | 又藤 | 妻涼 | 悠真 | ち栄 |
| 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 |
| 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 |
| 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 |
| 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 |
| 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 |
| 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 |
| 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 | 日比 | 倅 |



追悼

令和二年十月九日
元教頭 安齋 精児先生
令和二年七月二十六日
元教諭 喜古佐太郎先生
ご逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

退職される先生方

- 教頭 大谷 明
- 教諭 小野 広昭
- 教諭 佐藤 まどか

編集後記

今年度はコロナウイルスの影響により、活動が制限され、会報のページ数も少なくなりました。一日も早く終息し、以前のように活動できるよう役員一同心より願っています。